

人間の生き方へのヒント

この1, 2年の間にたまたま丹羽宇一郎氏著作の本を続いて読む機会がありました。氏は伊藤忠商事を再建した社長・会長。中国への特命全権大使、日中友好協会会長などを歴任していて現場からの発言には説得力があります。以下、私的に共鳴した、また参考になると思われる点を拾ってみました。(本の流れに沿っていますが編集上、一部を合体したり省略した部分もあります。また「→」は私自身の気持ちや言葉です)

「人間の本性」(幻冬舎)

- ✓ 人間というものが時代の移り変わりとともに賢くなり、心が成長した形跡はどこにも見当たりません。それは「人間の本性」そのものが、ずっと変化していないからなのかもしれません。→ その通り。科学文明がいくら進歩しても人間そのものが進歩しているとは限らない。この誤解が人間を不幸にしているような気がします。
- ✓ 利他の精神がなければ人間じゃない。
- ✓ 死ぬ間際に、家族に感謝して「ありがとう」の一言を残し、「俺の人生は幸せだった」と思えるなら、最高の人生を送ったと言えるのではないか。
- ✓ 会社において、組織全体で見れば余り貢献していないように見える社員でも、大局的に見れば、組織を健全に維持していくための潤滑油の役割を果たしていることもある。
- ✓ 金銭的に得とか損とか数字の計算がない分、ボランティアにはとても人間らしいものがある。金銭の損得の計算ばかりの人生は、干からびて楽しさも味わいも何もないものになりがちだ。
- ✓ お金があり過ぎることから来る苦労をたくさん抱えているであろうアメリカの大富豪よりも、アマゾンの先住民族の方がおそらく幸福度は高いのではないか。→ 平安時代と現代の日本人の幸福度は？
- ✓ 人から何かもらうことより、与えることを心がける生き方を選ぶ。
- ✓ 人のために何か出来なくても「ありがとう」の言葉があれば、それだけで相手に大切なものを与えることができる。
- ✓ ユーモアの素晴らしさは、自分を含めて笑いの対象にする点です。自分の欠点や失敗を俎上に載せて、笑いの話術としてはき出す。
- ✓ 経済の歴史を見れば、世界ナンバーワンの商品をもつ会社が50年以上続いた例はない。



ます。

- ✓ 社長になると黒塗りの運転手付きのハイヤーが与えられるものですが、私は片道1時間の電車通勤を続けました。・・・今はそのカラーも売り払って、移動手段はもっぱら自転車と電車です。
- ✓ 社員は行動するトップの背中をよく見えています。そして本当に信用できると判断すれば、心からついてきてくれます。

「死ぬまで、努力」(NHK出版新書)

- ……単に「困っている人を救いたい」という気持ちだけではなく、利他行動によって得られる相手の笑顔や感謝の言葉が、自分自身の喜びや満足につながっているのだと思います。
- 上司から難しい仕事を依頼されたら「ありがとうございます」と喜んで引き受ける。
- ダラダラ人間でも組織の潤滑油になっていることがある。
- 1960年代の日本人の平均寿命は68歳前後だった。→ 半世紀余りでこの”長寿化“。すでに自分もその年齢から10歳以上も長生きしている！
- 人生の最後に「これでよかったのだ」と自分で納得し安堵感を抱きながらあの世に旅立っている人が本当の意味での勝ち組だと思います。
- 定年後の留学の勧め ← 私自身も強く訴えたい。



➤ 最近気になること——高齢者も含めて日本人が昔と比べてどんどん覇気がなくなり、保守的になってきていること。ぬるま湯の中にどっぷりつかっていると、徐々にお湯の温度が上がっても気がつかない茹でカエルになってしまう。

➤ 日本人の幸福度ランキングは国連に加盟している150カ国の中で58位。上位を占めているのはフィンランド、ノルウェー、デンマークなど北欧の国々。

国民一人当たりのGDPは24位(2000年には世界2位だった)。中国を見ると10年ほど前は98位だったのが今は68位まで浮上している。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」などと言われたのは遙か昔の話で、どんどんGDPのランキングは下がっているだけでなく、国の借金も膨らんで2019年3月末の借金総額は1103兆円、過去最大を記録しています。

- 日本の引きこもり人口は約100万人。そのうち40代以上の中高年の引きこもりが、なんと半数以上の60万人を超えている、という異常事態。
- 1973年(第二次ベビーブーム)の出生数が210万人だったのに対し、2019年には86万人となり半数以下になった。このまま少子化が進めば100年後には約4300万人となる予想もある。少子化の理由としては非正規雇用の増加によって若者の所得水準が低下したこと、女性の社会進出が進んでいるのに雇用環境の整備が追いついていないことなどが挙げられます。
- あらゆる国と良好な関係を築くためには「日本は他国に対して絶対に嘘をつかない。裏切らない。戦争もしない」という真摯な姿勢を世界に誠実にアピールしていくことが大切。一つの国の顔色ばかりを伺うのではなく……
- 中国の人口は14億人、アメリカは3億3千万人、日本は1億2千万人。研究者の数で見ると、中国162万人、アメリカ135万人、日本は66万人です。→ 人口は国力の一つ。そして研究者の数はその国の発展要因の一つ、を実感しますね。

